

## 生き物調査報告会

生きもので賑わう田んぼとは：丹波市オーガニックビレッジの本格実施を受けて  
特定非営利活動法人・西日本アグロエコロジー協会

大雪のために中止した2月8日(土)開催予定の生き物調査報告会を下記のように開催すること  
としました。みなさまの奮っての参加をお待ちします。

丹波市は2023年3月にオーガニックビレッジ宣言を採択しました。同宣言に基づく「有機農業実施計画」には「生き物調査や水質調査等を通じて、生物多様性や清らかな水と環境にやさしい農業との関係性について考える」ことが盛り込まれています。

NPO法人・西日本アグロエコロジー協会では、2022年から市内の田んぼで生き物調査と農薬の  
残留調査を実施してきました。その内容は、オーガニックビレッジの推進にも貢献できる内容を含んでいます。今回の現地報告会では、3年間の調査結果のまとめと田んぼの水質調査結果の概要を報告し、「生きもので賑わう田んぼ」の視角から丹波市における地域農業の方向性について考えます。

基調講演としては、長年有機農業を続けてこられ、丹波市のオーガニックビレッジを検討する委員会のメンバーでもある婦木農場の婦木克則さんからオーガニックビレッジについて話題を提供してもらいます。



開催日時：2025年3月8日(土) 13:00(受付) 13:30開演  
開催場所：丹波市春日住民センター視聴覚室(JR黒井駅徒歩10分)  
主催：特定非営利活動法人・西日本アグロエコロジー協会  
共催：丹波市春日第4工区ふるさとづくり協議会  
後援：丹波市



### 講演会・報告会のプログラム

基調講演 「丹波市オーガニックビレッジ」の可能性と課題(仮題)

婦木克則(婦木農場、丹波市環境創造型農業推進懇話会委員長)

### 報告会

調査の趣旨と枠組 池上甲一(近畿大学名誉教授、西日本アグロエコロジー協会)

生き物調査の結果 近畿大学農学部生態調査班学生

農薬調査及び田んぼの水質調査の結果とまとめ 池上甲一

問い合わせ：西日本アグロエコロジー協会協会事務局(コープ自然派兵庫内)

TEL：078-998-1671(月～金 9:00～17:00) メール：[agroecology@shizenha.jp](mailto:agroecology@shizenha.jp)